

みみちゃん通信 NO.5 岐聖大心ぞく幼稚園 発行

水遊びが心地よい季節になりました。園の子ども達も夏祭りに向けて準備体操のかわりに盆踊りの練習をしてからプール遊びを行っています。衣服の脱着やシャワーなども日に日に慣れてきているようです。ご家庭でも安全には十分配慮しながら、水に親しめるような機会をぜひもっててください。

もうすぐ幼稚園は夏休みに入りますが、子どもの成長にお休みはなく、むしろ夏草の茂るようにこの時期にこそめざましい発達が見られるものです。夏ならではの経験をたくさんして、9月にはひとまわり大きくなった皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

これからの季節は熱中症にも十分ご注意ください。



「熱中症？」そのときに

子どもたちが大好きな夏ですが、熱中症には注意を。子どもに異変があったら、すぐに手当てをして重症化を防ぎましょう。



① 涼しい場所に移動する

風通しのよい日陰や涼しい室内に連れて寝かせ、服のボタンやベルトを外す。



② 体を冷やす

ぬらしたタオルで体をふき、うちわや扇機の風を当てて体にこもった熱を逃がす。



③ 水分を少しずつ与える

麦茶や子ども用のイオン飲料などをひと口ずつ与える。一度に飲ませず、様子を見ながら。

- 冷やしたタオル
- タオルに包んだ保冷剤
- 冷えた缶ジュースなどを挟んで冷やすと効果的



注意!!
39℃以上の発熱があり、ぐったりして意識がないときは救急車を呼びます

薄着の季節、オムツ外しにトライしてみませんか？

気になる排泄の習慣…つい焦りがちになる排泄の習慣ですが、排泄は体や脳の発達に伴って身につくものです。1歳を過ぎると、膀胱にためられる量が増えるので、1日の排尿回数が10~15回程度に減り、「おしっこがたまった」という感覚も徐々にわかるようになってきます。

- ① 食事や午睡の後でおむつがぬれていないこともあるので、その時はトイレに誘い、便座に座る感覚に慣れていくようにしましょう。出なければ2~3分で切り上げます。
- ② トイレに行くのを嫌がる時は、無理強いするとトイレが嫌いになることもあります。



「まだ、出ないのかな？」と子どもの主張を受け止めて、少したってから誘うようにしましょう。

- ③ 生活の節目で声をかけてトイレを促し、言葉で「おしっこ」と教えてきたり、自分でトイレに行けるようになったらうーんとほめてあげましょう。



マイナス表現に気をつけましょう…トイレでできるようになっても時には、間に合わないことがあります。「失敗しちゃったね」と言われる



と、「おしっこをすること = いけないこと」だと思ってしまいます。「くさい」「きたない」といった言葉も同様です。排泄は体から余分なものを出す大切な作用であることを頭におきながら「ぬれちゃったね。さっぱりしてこようか」と優しく受け止めてあげたいものです。